



第436号

2019年2月28日発行
 日工同窓会広報委員会
 編集責任者 瀧澤 之晴
 発行人 星 憲一郎

日工同窓会事務局
 日工同窓会館
 〒317-0077
 日立市城南町5丁目14番13号
 TEL (0294) - 21 - 5237
 FAX (0294) - 21 - 5241
 E-mail:
 dosokaij@net1.jway.ne.jp
 http://nikkoudousokai.net/

印刷所
 大成印刷株式会社

「考え方が 「運命」を決める



株式会社日立製作所 インダストリアル
 プロダクツビジネスユニット
 人事総務本部 総務部

部長 石原 宏

自分の考え方に気をつけよ、
それは言葉になる。

自分の言葉に気をつけよ、
それは行動になる。

自分の行動に気をつけよ、
それは習慣になる。

自分の習慣に気をつけよ、
それは品格になる。

自分の品格に気をつけよ、
それは運命になる。

(英文省略)

誰の言葉なのかは不明ですが、ある中学校の野球部の顧問の先生のホームページに掲載されていた文章です。「考え方」が「言

葉」になり、それが「行動」に表われ、やがて「習慣」になり、その人の「品格」が作られ、そしてやがてその人の「運命」を決めていく…。「考え方」ひとつが「運命」を決めるなんて、何を大げさなという「考え方」もありませんが、まさに当を得た言葉だと思えます。

私たちの周囲には、ここでは書けないような耳を覆わんばかりの汚い言葉を使う人がいます。人に対して使ってはいけない言葉ですし、使っているのは若い人が多いように思えますが、

決してそうではないのは悲しい限りです。言われた人がどれだけ辛い、いやな気持ちになるか…。その人の「心の在り様」がそんな言葉を使わせているのだろうと思えます。私たちは、社会人として自分の言葉と行動に責任を持たなければならぬのは当たり前ですし、言葉ひとつで人は傷つき、場合によっては命にかかわることがあります。

今年の11月に開催された技能五輪沖縄大会で、日専校の卒業生たちがすばらしい成績を収めてくれたのは皆さんもご承知のことでしょう。私も応援に行かせてもらいましたが、課題を完了させて審査員の評価を受けている間の選手の表情は、実に清しく、やるべきことは全てやりきったという満足感と、成果物に対する自信に漲っていました。技術を極めたいという想いが、厳しい訓練という行動となり、技能という習慣を体にしみこませ、競技を通じて品格に昇

今号の主な内容

事業所幹部ご所感	1面
地区活動連絡協議会	2面〜3面
技能五輪メダリスト座談会	4面〜5面
技能五輪「沖縄大会」取材(Ⅱ)	6面
日立支部「絆杯」 自分を元気にする方法	7面
学校だより	8面〜9面
本部会員の頁	10面〜12面
勝田地区卒回の集い・社外表彰	13面
社内表彰・会員の消息	14面

華した瞬間を垣間見た気がしました。選手たちの想いはこうして日専校の後輩たちに脈々と引き継がれていくのだと思います。

また、日専校では、人間力の成長を促す育成方法としていくつかの活動を実践しており、その中に「大きな声で挨拶すること」があります。冒頭の文章に沿って言えば、人間力を高めようという考え方があり、それを言葉・行動に起こして「大きな声で挨拶する」ということなのでしよう。やがては、それが生徒たちの品格になり、卒業後の日立グループでの大いなる活躍という運命を決定するのでしよう。私も年に何度か日専校に行

きますが、日専校に行くとは生徒全員が大きな声で挨拶をしてくれず、元気な挨拶は周囲を元気にしてくれません。ほんの数秒の挨拶で環境を変えられるのだから、まさに運命を変えて「笑う門には福来る」というもので

このように、「考え方」と「運命」は直接結びつくとは思えないようですが、先述のような技能五輪選手活躍、日専校生徒の挨拶のような事例を冒頭の文章のように段階を踏んで考えると、すくと腹に落ちるのではないでしようか。私自身も「考え方」を少しでも改め、「運命」を変えられたらと自省しています。

最後になりましたが、日工同窓会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、結びの挨拶とさせていただきます。



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です！

第11回地区活動連絡協議会



去る2月2日(土)、ひたちなか市の勝田駅前の「日立総合技術研修所」に於いて、「第11回地区活動連絡協議会」が開催された。星代表副会長の挨拶を皮切りに、参加者の自己紹介が行われた。各地区の活動状況報告では、現在の状況や問題点や悩み事等、様々な意見交換が行われた。懇親会では、各支部の悩み事や問題点についての意見交換により、交流を深め、最後に校歌と寮歌を斉唱し、散会した。

星代表副会長挨拶



本日は、休日にも関わらず多くの皆様に、お集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃より日工同窓会本部に対しまして、ご支援、ご理解をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

さて、2018年度の活動も終盤戦に入っております。各支部各地区での活動も活発に行われているものと考えます。私ども日工同窓会の強みは、会員同士の絆であり、後輩を導き、助け合い、そして、自ら努め励むことでもあります。

日工同窓会の存在意義は、人によって人を育み、輝かせるための働きかけと導きに労を惜しまず、人材育成の場を維持し、強化することです。地区制度を始めた目的は、地区間の人員の異動等の把握、地区間の連携を強化し、小さな本部を作ること、さらには、支部行事自体の開催が難しくなった支部の支援を目的に

地区制というものをつくり確実に定着してきたものと考えます。

本日の研修会を参考に、来年度は、各地区がどうすれば、効率よく会員の動向を把握出来るのか、行事への参加率をどう上げていくのかについて考え、支部長、幹事各位は会員と顔を合わせていただくことです。郵送で出欠をとるのではなく、是非会員の見える化活動をお願いいたします。

本日は短い時間ではありますが、忌憚のないご意見、活発な討議をお願いいたします。

山崎会長挨拶

1. 学校の近況について

①2019年4月からの生徒数は、高等課程が3年生(105回) 91名、2年生(106回) 84名、1年生(107回) 73名、専門課程が10名で、総数258名となる。



2019年度入学から、(M H P S) 配属がなくなり、

日立グループに就職する生徒だけになる。

②寮の食事

1月から日京クリエイトの賄い方式を廃止した。朝はバイキング方式、昼は弁当、夜はケイタリング方式に切り替えた。食事内容の満足度向上を目指している。

③校内環境改善中。八紘ヶ丘の裏野球部室の後ろの森に、匠の道紅葉ヶ池(以前の名は、隠れ池)を再整備中。是非ご訪問いただきたい。尚、同窓会より草刈、木の伐採のご支援も頂いている。

④新学期からの改定内容

- ・全生徒にグループのノートPC(クロームブック)を配布する。校内(寮の個室以外)にWi-Fiの環境整備完了しており、動画の活用、学習の効率化を目指していく。
- ・1時限の授業時間を50分から45分に変更する。部活時間を15時20分〜17時50分とし、就寝時刻は22時となる。

・今後、選択科目を受講する方式を検討したい。企業人の養成学校として、技能五輪、資格取得、その他企業で必要な知識・技能(コミュニケーション力、安全、QCなど)の強化を図っていく。技能検定、危険物など各種資格の合計点数が45点以上の者に授与されるジュニアマイスター(ゴールド)受賞者(3頁へ続く)

(2頁の続き)
は103回生9名、104回生34名と激増した。

【日立地区】

狩野 隆氏 (68卒・日立)



日立支部単体で地区扱
いでの活動し
ており、本年
度は納涼ビア

パーティーに来賓含め250名で開催、また日専祭ではバザーを出展させるなど活動を行ってきた。日立支部は、日立製作所・HP S D・MHP S・日立の3社連合で行い5年が経ち、2019年4月より電製支部が新会社になる予定で、今後、地区活動を会社毎に単独で行うことについて検討が必要かも知れない。

【日立北地区】

大河原 孝氏 (70卒・日高)



本年で10年目の節目の年を迎えることができ、今年も魅力ある

企画を様々なイベントとして行い親睦を深めることができた。日立北支部は、日立金属・日立パワー・日立化成で構成されており、なかでも日立金属は、最近になり日専校生並びに専門課程生の採用が1名ずつ少な

いため、若手会員が交流できるよう、本部での行事企画検討をお願いしたい。

【日立南地区】

小林 淳一氏 (73卒・大みか)



国分・多賀・大みか・日研の4支部で構成されている。幹事は1年

毎の輪番制とし、各支部ともメイン行事には他支部の役員を招待して互いの親睦を深めるように心掛けている。近年は働き方改革により、支部活動の時間も取りづらくなってきている。また、会費の準公金取り扱いが今後難しくなると考えられるが、本部としてはこの点をどうお考えか見解をいただきたい。

【勝田地区】

太氏 (67卒・佐和)



勝田・右神・水戸・那珂・佐和の5支部で構成されているが、幹

事は会員数を考慮し、水戸・那珂・佐和の3支部で持ち回りにしている。本部からの補助金が減額された事で、前年同様の行事開催が困難となり、地区行事だった「技能五輪」くろうさん会」を廃止した。

【京浜地区】

大内 秀芳氏 (72卒・神奈川)



京浜・小田原・厚木・神奈川の4支部で構成されている。厚木支

部以外は新入会員が入らない為、会員数が減少しているが、会員が少ない分家族参加型の行事を行う事ができ、家族間の交流も図れている。引き続き、地区行事への本部からの参加を継続してお願いしたい。

【県西地区】

菊池 智之氏 (76卒・栃木)



下館・結城・栃木の3支部で構成されているが、会社

施策による異動が多く、今後を不安視する意見がある。3支部合同での交流会を継続して実施しており、本年で35回目である。栃木支部の会員数が減少(現在4名)支部存続の危機である。本部では定年後再雇用のOBを継続して正会員と出来ないか、本部における検討をお願いしたい。

【県南地区】

大平 英樹氏 (76卒・建機)

土浦・建機・SHカッパの3支部で構成されている。(2019年



度からSHカッパは日立金属土浦に支部名を変更) 昨年度初め

て実施した合同懇親会を、今年度も本部からの来賓を迎えて盛大に実施した。支部事情が違う為、苦労点もそれぞれである。土浦II会員数も多く交替勤務もある為、参加率が低い。建機II工場に分散している為、場所・日程計画が難しい。SHカッパII会員数が減少し行事立案に苦慮を引き続き、本部からの支援をお願いしたい。

山崎会長講評

会費の徴収が難しくなってきたという問題が出てきているが、大切なのは魅力ある同窓会を作ること。現在は、会費に合わせる、行事も支部単位が基本だが、日立地区、勝



田地区など、地区単位の活動も有効と考える。また、例えば、卒業後5年研修を日専校と同窓会の合同で開催してはどうか。



第56回 全国技能五輪全国大会

技能五輪メダリスト座談会

去る1月19日(土)、日立シビックセンター503会議室において、広報委員会主催による「技能五輪メダリストとの座談会」を開催した。

この会では、技能五輪全国大会で活躍した選手に、成果を上げるまでの苦労や努力、大会の内幕等をさくばらんに語ってもらった。

今年度の「第56回全国技能五輪全国大会」は、沖縄県で10月27日～11

月4日にかけて開催された。本大会には、59名の同窓生が選手として出場し、金銀銅併せて18名がメダルを獲得するという好成績を収めた。この座談会では、メダリスト13名(5名欠席)と広報委員8名が集い、賑やかな雰囲気の中広報(木村)副主査の挨拶により座談会が開始された。

座談会では時間も限られているため、事前アンケートの内容を発表してもらうスタイルで進行したが、どのメダリストも立派な内容・報告態度であり、自信に溢れたものだった。また、大会当日の裏話や事前準備の苦労話など対談することもでき、知れば知るほど技能五輪の奥深さに委員全員が感銘を受けた。

技能五輪をやるうとしたきっかけは、様々だったが、やって良かったとメダリストが感

(5頁へ続く)



質問事項	メダリストの回答(抜粋)	補足・取材者感想
技能五輪をやろうとしたきっかけ	①技能五輪選手、先輩方に憧れて ②日専校の時に先生から勧められて ③全国、世界の舞台に挑戦したかったから ④自分の技能を試したかったから	①技能五輪選手、先輩方に憧れてが最も回答が多く、日頃から先輩方の姿を後輩は良く見ていることが伺える。 ②全国、世界で一番になってみたいという夢を若くして持っていたようだ。
技能五輪に挑戦して良かった点	①技能の向上、精神面の強化ができた ②訓練を通じてたくさんの仲間ができた ③気遣いや社会のマナーを学べたこと ④普段できない経験をすることができた	ほぼ全ての選手が技術、精神面について大きな成長ができたと回答。結果がどうであれ、選手達は技能五輪に挑戦して良かった!の一言だった。
技能五輪をやって大変だった点	①結果や点数につながらず伸び悩んだこと ②朝早く起きること、体調管理が大変だった ③2年間モチベーションを保ち続けること ④周囲からのプレッシャーに打ち克つこと	訓練の成果が思うように上らず、悩むことは多くあったようだ。また、年間を通じて体調管理に配慮するなど苦労ばかりの毎日だった。
結果を出すために特に心掛けた点	①同じ失敗を繰り返さないよう心掛けた ②自分の得意なこと、苦手なことを知るようにした ③毎日目標を1つ決めて、達成することを意識した ④選手と指導者のコミュニケーションを良好にすること	失敗しないためには?失敗したらどうするか?を各選手とても良く考え、前向きに意識改革をしていました。私達、先輩も学ぶことが多くありそうだ。
大会でのハプニング、面白エピソード、沖縄の所感など(自由記入)	①沖縄に長期滞在しながら観光できなかった ②他職種、企業間のつながりが多く楽しかった ③競技当日に記録的な大雨が降ったこと ④競技開始1分前に競技ブースにムカデが出てストップした	各選手とも多少のトラブルはあったようだが、それをものともせず結果を出したのはお見事!どの選手にしても思い出に残る沖縄大会となったようだ。
今後の進路(指導員や職場復帰)	①来年の国際大会へ出場(2名) ②来年も技能五輪選手として挑戦(5名) ③職場復帰(11名)	今後も訓練成果を存分に発揮し、輝く栄冠を勝ち取ることを期待している。職場復帰される選手の皆さん、感動をありがとう!
今後出場する選手や挑戦を考えている後輩へのアドバイス	①会社生活の中で日本一、世界一を目指せる機会はそう無いはず。技能五輪で培ったものは今後の人生に大きく活きると思う ②思いついたことは全て行い、たくさん失敗すること ③自分の限界にどんどんチャレンジしてください ④後悔しない道を進んでほしい(やらずに後悔よりもやって後悔)	今回も非常に有難いアドバイスをいただいた。



(4頁の続き)
 自身の成長ができたこと」だった。自身の成長の中には、物事の考え方が変わった・コミュニケーション力が向上した・自分の強み弱みを知ることができた。と目を輝かせながら堂々と話すメダリストに委員一同は後輩会員への逞しさを感じる瞬間となった。

一つの事に全力でぶつかつた成果が、これほどまでに選手に自信と向上心を与え、更に成長を望む後輩達の意識の高さに驚愕する時間となつたのである。技能五輪は、「技能を高め競い合う事」だけに目が行きがちだが、「本人の成長に資する」という部分も重要な要素であり、成果

また、「次世代の五輪選手に贈るアドバイス」をメダリストからもらうことができた。

- ・周囲とのコミュニケーションを良好にしておくこと。
- ・訓練も大会も楽しむことが大切。(考え過ぎないこと)
- ・一つ一つの作業には意味があることを理解すること。
- ・失敗を受け止めて、そこから成長すること。

技能五輪選手としての経験は、自らを大きく成長させ、今後の人生の大きな糧になるはずとメダリスト達は話す。今後は、選手として継続挑戦する者、職場復帰する者、指導者となる者と進路は分かれるが、貴重



な経験を得たメダリスト達のより一層の活躍を期待したい。
 外岡 智之(80卒・大みか)



◎金賞
 渡邊 湧芽氏
 (101卒・HMS)
 メカトロニクス



◎銀賞
 大内 詩史氏
 (101卒・日立ハイテク)
 メカトロニクス



◎銀賞
 橋本 可成氏
 (101卒・日立AMS:厚木)
 精密機器組立て



◎金賞
 吉田 悠太氏
 (102卒・日立:土浦)
 電気溶接



◎銅賞
 塩澤 隼人氏
 (103卒・日立:土浦)
 旋盤



◎銅賞
 小泉 拓也氏
 (103卒・日立:土浦)
 電気溶接



◎銅賞
 黒澤 翔斗氏
 (103卒・日立:大みか)
 工場電気設備



◎銅賞
 小姓堂和也氏
 (102卒・日立:大みか)
 工場電気設備



◎銅賞
 遠藤 啓太氏
 (102卒・日立)
 構造物鉄工



◎銅賞
 吉岡 秀訓氏
 (102卒・日立AMS:佐和)
 精密機器組立て



◎銅賞
 小倉 佑介氏
 (102卒・日立AMS:佐和)
 抜き型



◎銅賞
 柴田 寛斗氏
 (102卒・日立AP:多賀)
 抜き型



◎銅賞
 鈴木 笙太氏
 (102卒・MHPS:日立)
 機械組立て



技能五輪全国大会

「沖縄大会」取材(Ⅱ)

昨年11月3日(土)〜4日(日)にかけて、沖縄県で初開催となった技能五輪全国大会の一部の競技を取材したので、各職種の様子をご紹介します。

【機械組立て】

競技は豊見城市民体育館にて行われた。取材を行ったのは11月3日、全国的に快晴の天気の新ユースが報道されている中、沖縄県は激しい雨に見舞われていた。その雨音は体育館内にも聞えてくる程で、選手の集中力に影響するのではと心配するほどであった。

しかしながら、選手は課題に対して真摯に向き合っており、訓練で積み上げてきた力強い腕とヤスリを駆使し何度も摺り合わせを行うその姿は、メダル受章を目指すのは勿論、蓄積してきた技術と体力を全て発揮しようとする姿だった。

この競技は、各社・各個人で道具の種類や配置が異なり、また進行の手順も異なるため、見所の多い競技であった。

【機械製図】
競技は宜野湾市宜野湾海浜公園

(体育館)にて行われた。機械製図競技はCADを用いて行われるため、選手の動きとしては少なめなもの、モニターを見つめる視線と時折手にする電卓を駆使して、課題に取り組んでいた。

こちらの体育館でも、選手の集中力に影響があるのではと心配になるほど、屋根に打ち付ける雨音が大きく響いていた。

【メカトロニクス】

競技は製図会場の隣り、宜野湾市沖縄コンベンションセンターにて行われた。二人一組で行われるこの競技は、チームワークの良さが問われる競技であろう。今回は6組の同窓生がメダル獲得に向け、課題の分析や役割分担等を常に相談しながら、テキパキとした動作で取り組んでいた。

【電気溶接】

競技はうるま市内の賃貸工場で行われた。他市の会場と異なり広大な工業団地の一角に会場があり、周辺は建物が建っていないためため殺風景であったが、選手達はその分競技に集中できたであろうか。

選手は常に溶接面を着用しているため、その表情を確認することはできないが、時折り遮光板を上げて課題を確認する瞬間の目の表情は、自

信に満ち溢れているように見えた。この競技は、指導員も含めた応援者が常に競技を見守っているため、選手達は落ち着いて競技に集中できるのであろうか。

【抜き型】

競技は電気溶接の隣りの会場の賃貸工場で行われた。狭い会場ながら多くの選手と多くの応援団により会場内は熱気で満ち溢れていた。

組ヤスリと定盤、ダイヤルゲージを駆使し、プラスチックハンマーで組み合わせを行っている競技風景は、まさに千分の一ミリを競う姿であった。

【電子機器組立て】

競技は那覇市市民体育館で行われた。選手はモニターと図面、計測機器を交互に使用して課題に取り組んでいた。同窓生は2組のみであり、他社の選手に囲まれていたため、緊張しているのではないかと想像した。



沖縄コンベンションセンター



メカトロニクス職種



機械組立て職種



機械製図職種



抜き型職種会場



電子機器組立て職種



電気溶接職種

日立支部 第13回グループ対抗 『絆杯ボウリング大会』

日立支部恒例の第13回グループ対抗『絆杯ボウリング大会』を1月23日(水)退勤後の寒さ厳しい中、日立ボウルクレーンで開催いたしました。

当日は8グループと職場配属実習生も参加し総勢83名が集まる中、総務幹事の号令から始まり支部長の挨拶、そして昨年暮れに県議会議員に立候補・初当選を果たした高安博明氏(68回卒)からも挨拶をいただきました。その後、ムードが和む中、18時35分より4人一組のゲームを開始しました。

プレー中、各グループともストライクが出た時は、拍手やハイタッチで喜ぶなど、同窓生同士、年齢を超えた絆でプレー



しながらもひそかに闘志を燃やしつづけてゲームを行い、競技終了後には表彰式が行われました。

2ゲームの死闘後、トータルスコアで争われた結果、優勝に輝いたチームは発製グループ、個人の部優勝も発製グループ加藤氏(88回卒)に輝きました。「スコープは内緒にします」

優勝グループにはトロフィーと副賞を贈り記念撮影。同じ日立市内に勤めてるとはいえ普段中々会う機会のない同窓生との久しぶりの再会に若手会員も多数参加し、多いに盛り上がりた行事となりました。ボウリングは性別年齢を問わず参加できるスポーツなので、来以降も多くの同窓生を募り絆杯が盛大なイベントになる様に役員一同協力して行きたいと思えます。今後ともバックアップのほどよろしく願います。

支部長 狩野 隆 (68回卒)



自分を元気にする方法 ⑬

子どもを上手に育てる方法

会長 山崎 一平



日専校を訪れる外部の方たちから、「生徒さん達は、特に挨拶がハキハキしていて、礼儀正しいですね」とお褒めの言葉をよく頂きます。その都度、嬉しい気持ちになりますが、その背景には学校での教育以上に、子ども時代の良い育て方が影響していると感じています。

同窓会の会員の中には、家庭を築き、小さな子どもたちを育てている方も多くいます。今回は、子どもを育てる方をテーマに取り上げました。

私自身、2人の子どもの養育時代を振り返ると、「自分は仕事に専念、子どもの世話は妻にお任せ。休みはできるだけ子どもと一緒に遊ぶ」という感じでした。最近では、夫婦ともに働く家庭が多く、子育てで夫婦共同の仕事になりました。それだけに、父親も母親も、仕事で何かとストレスが溜まり、家に帰っては子どもの世話と躾、両方で結構大変な状態です。そこで、夫婦で相談して、上手に子どもの養育作戦を立て、実行していくことをお勧めします。例えば、「やっばいはいけない事」、「やっばいほうがいい事」の両面から、2つずつ決めて実行するのはいかがでしょうか。以下、私の反省を踏まえた思いを紹介します。因みに、この文章を妻に見せた所、「下記のアドバイスの中で、あなたが実行したのはほとんど無いけどね」と言っていました。

まず、基本的な考えですが、「親馬鹿になる」ことです。親馬鹿は、辞書では「親が、子に対する愛情に溺れて、子が愚かな事をしても気づかないこと」とあります。私の言う親馬鹿は、違って、次のような意味です。
1 自分の子どもは、「かわいくて良い子だ」と心から信じる。(何故なら、親が一番の応援者だから)

- 2 人前ではともかく、子ども本人に対して、誉めながら、声掛けをする。(何故なら、声や態度に出さないと、伝わらないから)
- 3 失敗しても、けなさない。(何故なら、否定的な言葉で心が傷つくから)
- 4 叱る時は叱る。でも短キツパリと。(何故なら、自分の失敗は本人が一番よく分かっているから)
- 5 体罰はしない。(何故なら、科学的にマイナスの影響が多いことが証明されているから)

では、次に事例をみていきましょう。まず、やっばいはいけない事です。親も生身の人間ですから、喜怒哀楽があります。その上で、できるだけ避けたい事は以下です。

- 1 体罰は無し。怒鳴る、脅かすも体罰です。この背景には、自分のストレスが影響しています。自身のイライラ感が子どもに向かうのは要注意です。自分の行為を冷静に見られなくなっています。叱っている所を、もしスマホで撮られて、後で見直したらどう感じるだろうか想像してください。
- 2 子どもとの前での喧嘩、口論、配偶者の悪口、兄弟姉妹の比較は無し。これは、子どもに大きな精神的なダメージを与えます。親は気づかないのですが、子どもは「自分が悪いからではないか」等、自分が否定された気になり、親の予想以上に傷ついています。対策の一つは、親同士の相手に対する不満や要望をメールかラインを使ってみようと取り決めるのはどうでしょうか？子どもの前では、朝の挨拶を意識的に言い、明らかに振る舞うよう心掛けることです。
- 3 無視は無し。子どもが話しかけても、仕事や

他の事で忙しく、つい無視してしまうのは避けましょう。理由を言って、「後でね」ときちんと返事を返す。短くてもスキミングを取るなどの緊急対応も効果的です。一方で、過度な干渉も無視と同じくらいマイナスの影響があります。自分に対する自信を無くすからです。

上記のマイナス行動は、心・脳の育成に悪影響を与えます。脳で判断や記憶、集中力を司る前頭葉や海馬の容積が、10%以上も小さくなったという検証結果があるそうです。その要因は、嫌な事、苦痛な思いを記憶に残さないよう、わざと脳を小さくして自分を防御している為では、という話です。一方で、親としてはストレスを上手に発散する手段を見つける事も大切でしょう。次に、「やっばいほうがいいこと」に移ります。2つ挙げます。

- 1 子どもに愛情を伝える動作を意識的に行う。愛情を伝える基本動作は、次の3つです。
- ①目と目で見つめ合う。
- ②手と手で触れあう。
- ③微笑みながら話す。

この動作を意識的に行うことです。「意識的」にアクセントを置いています。
2 親に甘える時間を作る。子どもが甘えることを嫌がる親がありますが、間違っています。腕に抱かれる、見つめ合う、微笑み合う。これらのスキンシップで、安全・安心感、信頼感を身体で覚えていきます。心が落ち着く、戻れる場所(安全基地)が確保されると、困難に立ち向かう勇氣と自信が生まれてきます。社会人として、しっかりとコミュニケーションができる人物になります。

毎日寝る前に、今日は何回子どもにも触れたか、どうい言葉かけたか、少しの時間振り返ってみるのも効果的でしょう。ともあれ、愛情もイライラも家族内に伝染します。それならば、良い方を伝染させていきましょう。

学校だより

専門課程

技能照査全員合格

認定職業訓練校の修了試験とし専門課程の技能照査を機械実習場にて実施した。茨城県労働政策課の課長補佐の立会いの下、1月9日(水)に学科試験を、1月18日(金)に実技試験が行われた。実技は7月に実定課題と同じ課題であるため、ある程度余裕を持って対応することができたようだ。学科・実技両試験とも近年に無く優秀な成績で合格することができた。事業所就職時には合格証を持参することができ、有効に業務に活用してもらいたい。



技能照査実技試験

専門課程

クレーン研修

2月4日(月)から7日間就職先事業所の要望で6名の専門生と株日立ニコトランスミッション実習中の高等課程生1名が茨城クレーン学校(鹿島)でクレーン運転士免許と玉掛け技能教習の研修を実施した。午前と午後でクレーンの学科と実技を交互に行い夕方は玉掛けの勉強である。土曜日にクレーン運転士技能審査、日曜日に玉掛け技能審査が行われた。両方とも全員合格し爽やかな笑顔で登校してきた。2月21日(木)にはクレーン免許学科試験があり、全員合格を期待している。



玉掛け技能講習



クレーン運転中



技能五輪電気溶接

職種茨城県予選

(日専校会場)

2月8日(金)五輪部2年溶接科3名(角守)(宮嶋)(山本)と今年度は(HBS)(田口)と(水交通)五輪部OBの(村山)の5名が本校会場で合同予選会を実施した。選手目標宣言の後、3時間の競技が始まった。さすがに事業所訓練生は出来栄えと作業時間も短く、制限時間の約30分前に終了した。指導員の話ではあまり出来栄えは良くなかったとのこと。(宮嶋)は最初は緊張したが無難にこなした。(角守)はミスがあつたが何とか力入りできた。(山本)は緊張したが平常心を取りもどしまとめることができたとのコメント。2月13日(水)に課



角守

宮嶋

山本

題の測定、耐圧を行うが各県の予選が終るのが6月頃となるので、本大会に向けた訓練を行いながら最終結果を待つことになる。

3級シーケンス

制御技能検定

1月27日(日)学科試験、29日(火)実技試験の2日間、2年生電気科25名全員と3年機械科1名が国家検定「3級電気機器組立て(シーケンス制御作業)」試験に挑戦した。生徒たちは、実習はもとより放課後に補習授業を受けるなど十分な準備をして試験に臨んだ。当日は、全員が落ち着いた状態の中、培った技能を遺憾なく発揮していた。可否は3月15日(金)に発表となる。



第7回手帳甲子園

本大会出場



2月2日(土)新宿LUMINEOで開催された手帳甲子園本

大会に取り組み部門の東京代表(12月22日に地方大会実施)として、2年溶接科 船木優心が出場しプレゼンテーションを実施した。大会参加者の投票によって順位を決める方法で(船木)は残念ながら最優秀者に(9頁へ続く)

人前で話す機会がそれほど多くない私は、プレゼンテーションをすると言われても何に注意したらよいかなど全くわかりませんでした。そこで私は多くの人のプレゼンテーションを聞いて、伝えやすい話し方や伝わりやすい言葉を使うようにしま

日立工業専修学校 船木 優心さん



（8頁の続き）
選出されなかった。【船木】私は第7回手帳甲子園に出場しプレゼンテーションをすることでたくさんのことを学びました。手帳甲子園は何故やるのか、それをノルティスコラの高梨さんがお話をされていました。「人の成長を支援する」ため、それが結論でした。そして私はこの手帳甲子園を通して多くのことを学び、人としての成長を果たしました。



12月19日（水）の剣道1級審査に合格した中から技量に優れた21名が2月3日（日）の初段審査に挑戦した。高等課程19名・専門課程2名を見事全員合格。授業及び補習の成果を出し切った結果である。

剣道初段審査

.....
した。また、多くの動作を取り入れ見て人が納得してくれるようにプレゼンテーションが出来たのではないかと思います。実際にプレゼンテーションをした後に、「良かったよ」、「わかり易かったよ」などの言葉を聞いて私はやってよかった、成長できたのではないかと思います。今回残念ながら最優秀賞とはならなかったものの、私自身が成長出来たことや、またとない貴重な機会を貰えたことにとても感謝しています。ありがとうございました。
.....



学校行事

(2019.3～2019.5)

- 2/21(木)～3/2(土) 2年生海外研修
- 3/18(月) クラスマッチ
- 3/21(木) 卒業式リハーサル
- 3/22(金) 卒業式
- 3/25(月) 終業式
- 3/26(火)～3/29(金) 春休み
- 4/1(月) 始業式
- 4/8(月) 入学式・寮歓迎会
- 4/19(金) 1年生・専門生高鈴山ハイキング
- 4/23(火) 中学校先生対象説明会
- 4/25(木) 高等学校先生対象説明会

<http://www.hitachi.co.jp/Div/tech-school/high/index.html>

日立工業専修学校「専門課程」2020年度生徒募集

実 習 会
体 験

日程：第1回5月25日(土) 第2回6月15日(土)

内容：①機械実習体験 ②学校・寮見学 ③学校説明

※参加を希望されている方は、事前にお申し込みください(各回先着40名)
お申し込みは、右のQRコードか、HPからお願いします。



申込みはこちらも便利



学校見学

随時受け付けています(事前にご連絡ください)

- ・卒業生は日立グループ就職率100%実績!
- ・モノづくりのエキスパートによる技能教育!

- ・将来に役立つ各種資格の取得(受験無料)!

◆資格取得◆

国家試験

- ・2級機械加工技能士(普通旋盤)
- ・機械加工科技能士補
- クレーン運転士免許・玉掛け技能講習
(*就職先事業所による)
- ・危険物取扱者乙種4類、工業英語能力検定
計算技術検定

◆4つの魅力◆

- ◆ 特待制度あり《授業料など一部免除》
- ◆ 工場出身の指導者だからできる安全教育
- ◆ 職業訓練校認定に伴い技能士補に挑戦
- ◆ 魅力的な教養力向上研修
(過去の実績)
世界遺産見学・テーブルマナー研修
国際見本市見学など

第43回
「わが宿の集い」

「44回卒の日」講演 関根・志田氏

余興、作品展示、懇親会も

第43回「わが宿の集い」が、2018年11月16日(金)午後1時から日工同窓会館で開催された。今回は全て44回卒の企画。実行によって行われ、61人が参加して大盛会となった。

講演に先立ち、山崎会長から現在の日専校の状況や来春封切りになる映画、「ある町の高い煙突」の紹介があった。この映画は1910年頃の社会問題の一つ、日立銅山の煙害に対し解決に取り組む誠意と忍耐をテーマにした映画である。なお、日立製作所と日専校(徒弟養成所)はこの年に生まれ、この映画から当時の日立周辺の状態もうかがえるので是非見て欲しいとの事であった。

この他に11月18日に行われる「日専祭」の紹介があり、後輩が一生懸命にやったので是非来場して欲しいとのこと。

講演は、関根幸一氏から「技能五輪(国際大会のサーポート)にかかわって」と題して当時の苦労話や楽しかった思い出話をしていただいた。氏は第37回(2003年)のスイス大会から第41回イギリス大会(2011年)までの計5回の大会に、通訳という任務で関わり、選手、エキスパート、本部との連絡に関する通訳、更に選手や指導者等に対しての簡易会話の指導もしていた。これらの関わりで見聞を広めることが

出来、各事業所、同窓会に感謝すると共に任務を遂行する上で健康で頑強な身体づくりに気配りをしてくれた妻と家族そして仲間には今でも感謝していると語られた。

次に志田政敏氏から「ああ、青春に望みあり！」(生き甲斐創りの意識改革)と題して講演いただいた。高齢化社会の現代において、我々も人生の長期計画を立てることが必須であり、その為の高齢者としての品格や生きがい創りの意識改革について詳しい話をされた。

講演の途中で氏は、日工同窓生としての思いを詩にして詠われた。氏



講演を前に(左)関根氏、(右)志田氏

は講演だけではなく世相を反映した酷似人形や絵画の作品展示もしており、趣味の広さ深さに、参加者の皆さんは一樣に驚いていた。

講演が終わり休憩の後、余興として志田政敏氏のリードのもとコーラス愛好者(男声合唱団・常磐ひたちメンネルコールで活躍中の関田、佐々木、榊原の3人(53卒)を中心に、配られた歌詞集をもとに参加者全員で歌った。

曲目は校歌、寮歌から始まり童謡から抒情歌、フォークソング、歌謡曲まで連続で次々と歌われた。一同が昔をなつかしみ、そして思い出しながら時間の過ぎるのも忘れ楽しそうだった。

作品展示では油絵、水彩画写真等、素晴らしい作品が多く出展され44卒の皆さんの趣味の広さに誰もが感動した展示となった。

最後に懇親会が開かれ、一人ひとり日専校時代をなつかしんだり、現役時代のこと、健康維持の話などアルコールも入り、楽しいひとときとなった。

次回は6月21日(金)に行なわれる予定、是非ご参加ください。

(54卒 大森晴男)



参加者全員で楽しく歌う。リードする右から指揮志田氏、ギター奥村氏、コーラス隊の3人

展示作品(一部)



水彩画/奥村氏



写真/笹島氏



菊/吉澤氏



フィギュア/志田氏



写真/真下氏

日立中部I地区

初回から16回連続

2千円懇親会を実施

2018年11月26日、第16回中部地区懇親会が多賀市民会館小ホールで開催された。参加者は来賓の本

部会員運営委員会・副主査の佐藤忠良氏(49卒)、同・地区活動小委員会副主査の関根幸一氏(44卒)を含め34人。毎回初参加者があつたが今回はなし。初参加者の存在は新鮮味が感じられ、有難い存在であつただけに残念であつた。

司会と言えはこの

人、岡部健氏(50卒)の司会で進行。冒頭この1年の間に亡くなられた舟生甲子三氏(30卒)、川崎健嗣氏(31卒)、萩野谷謙次氏(42卒)、牛山隆一氏(43卒)、斎藤勝利氏(47卒)の5名に対して黙とうを捧げた。

地区長の小島喜代一氏(48卒)の挨拶の中で、今まで最大の会員数を誇っていた私たちの地区は1200人を



神代氏と榊原氏の息の合ったハーモニカ伴奏でなつかしい曲を歌って楽しい懇親会になった

下回り、ひたちなか地区、日立北部地区と僅差になっているとの報告があつた。少々淋しい話である。その後、来賓の佐藤氏と関根氏からそれぞれ挨拶があつた。若さが衰えない最長老の佐川幸氏(32卒)の音頭で乾杯、宴に入った。

各テーブルの代表挨拶の後、余興としてなつかしい曲を皆で歌つた。ハーモニカ伴奏は神代光昭氏(48卒)、榊原(53卒)が担当し、「校歌」、「青山山脈」、「有楽町で逢いましよう」などを元気に歌つた。

「銀座の恋の物語」では女装姿の関和則氏(52卒)、男役の佐々木明生氏(53卒)が登場、大うけでやんの喝采を浴びた。

最後に定番の「寮歌」を声高らかに歌い、平山秀康氏(49卒)のエンルで地区同窓会の益々の発展を祈つた。(53卒 榊原愛正)

日立中部II地区

第14回総会・懇親会

2018年11月21日(水) 大みかクラブに於いて当地区恒例の総会及び懇親会を小春日和の中、19人が参加して盛大に実施した。

今回も大みかクラブのご厚意で地区内をバスにて参加者を拾つていただき大助かり。

予定の12時に、今年の総会司会を務める木村隆志氏(55卒)の合図でスタート。

初めにこの1年の間に亡くなられた、2名の方のご冥福をお祈りし全員で黙とうの後、総会を開始。地区長の上野栄一氏(54卒)の挨拶、続いて本部運営委員の佐藤忠良氏(49

卒)から今後の行事や学校の様子などの紹介、特に同窓会100周年記念行事の進捗状況は興味津々。是非皆で参加したいものだ。ゴルフ同好会の成績発表(12頁掲載記事参照)もあり、参加者が減少気味なので参加の要請があつた。

その後、野沢守氏(30卒)の若々しい気合いの入つた乾杯の音頭で懇親会に入った。

時が過ぎ、アルコールが回つて来ると舌の滑りも良くなつて、恒例の近況報告になり司会者から指名があると、待つていましたとばかり名調子の語りが続く。代表的なのは金沢和男氏(37卒)で、足腰の弱さが出てきた。今年で最後になるかも知れないので(しゃべらせろ)とユニークな近況報告が出る始末、皆で大笑い。

余興に入り今年も益子元好氏(48卒)が場を盛り上げてくださり、感謝、感謝。最初の漢字読み方問題には、会員の頭の衰えが目につき国語教室が開催された様であつた。

次に恒例になつていているトラベット演奏によるイントロクイズ。相変わらず曲は解るが題名が出ない。珍回答続出で大笑い。正解者にはプレゼントが手渡され、得意のドヤ顔がおもしろく又大笑い。和



懇親会でこんなに頭を使うとは、余興は今年も益子氏が盛り上げる

やかな時間もあつたという間に過ぎ、最後にトラベットの流ちょうな伴奏付きで校歌、寮歌を全員で肩を組した。かくして2時間の予定時間はあつという間に過ぎ、来年は日帰りバス旅行も良いなといった意見も出されて、幹事の検討事項となる。最後に、若手を代表して佐藤茂次氏(53卒)の元気な三本締で、再会を誓いながらお開きとした。(49卒 工藤昭一)

日立南部地区

18回目の懇話会を実施

第18回日立南部地区懇話会（代表世話人・川村豊氏（47卒）を11月22日（月）午後1時から日立事業所大みかクラブにおいて会員18人の参加を得て開催した。

総会に先立って緑川地区長（48卒）の司会により、始めにこの一年の間に逝去された3名の先輩方への黙とうを捧げた後開会した。

川村代表世話人挨拶、佐々木幹事

長（55卒）の会務報告と久下沼担当幹事（53卒）よりゴルフ同好会（会長・長山栄實氏（41卒））の活動報告があった。

その後、来賓の本部会員運営委員会主査の豊田和明氏（49卒）のご挨拶いただいた。地域活動報告として、平成30年4月に発足した「ひたちみなみスポーツクラブ」の立ち上げ、地域の現状、現在に至るまでを当クラブ会長の深作保弘氏（48卒）より報告があった。



久しぶりに大先輩が参加したい夫婦の日の懇話会、参加者数の維持が課題

懇親会は、宇佐美英夫氏（41卒）の乾杯の音頭から始まり、秋本幹事（49卒）の司会による出席者の近況報告や有意義な提案に話しが盛り上がり、和やかに懇親を深めることが出来た。予定時間を超過しつつ、恒例の校歌の斉唱を経て長山栄實氏の万歳三唱で再会を期して散会した。今回は、久しぶりに大先輩も参加され、心に残る有意義な同窓会となった。

なつた。参加者数の維持が、会の課題となっている。会員が励ましあいながら、続けることが重要であると実感した。（55卒 佐々木正男）

那珂地区

元気さ！アピール

懇親会を開催

2019年11月17日（土）に、ばらんど太郎那珂店で懇親会を開催した。本地区の本部会員31人中、12人が参加（出席率39％）となった。

年に一度、会員が顔を合わせ、お互い元気な姿を確認しあえる場である。会費を例年よりも安くし、ひとりでも多くの参加者を期待したが、体調不良や先約ありなどの理由で、結果は例年同様の出席状況となった。

会に先立ち、しらすの状態で記念写真撮影を行い、全員が素顔の若き姿（個人差はあり）を写真に収めた。そして懇談会スター



「元気」であることが懇親会出席の鍵、いつまでも健康で過ごしたい

ト。最初に出席者中、最年長である澤幡弘道氏（43卒）より開会のご挨拶をいただいた。続く乾杯の音頭は逆に最年少の後藤英雄氏（55卒）にご発声を願った。

懇談に入ってから間もなく、司会の独断により一人5分の目安で、近況報告などを名簿順にお願いした。

農園でヤーコンやウコン栽培に精を出している者や、職場が同じだったよしみからゴルフコンペをしているとか、海外旅行した人の生活体験苦労話や、今後海外旅行をしたい

者、今でも就職を希望している等々、いろいろな話で盛り上がりを見せた。スピーチの間で意見が交換され、大変楽しく有意義な時間を過ごすことができた。

お開きの時間になり、記念写真を配布してから、平澤公明氏（44卒）による一本締めで散会した。（49卒 菊本康司）

日立中部II地区

第10回ゴルフコンペ

2018年9月28日、グランドスラムCCCにて第10回のゴルフコンペを開催した。

秋雨前線の影響で寒い日と雨天が続く時期にもかかわらず、当日は暖かな晴天に恵まれ、43〜55卒の8人が参加し、和気あいあいと楽しくプレーすることができた。

ほとんどの人が普段の力が出せず苦戦したが、新ペリア方式での競技結果は、上手くラウンドをした千田政見氏（48卒）が、ベスグロの小室正男氏（50卒）を上回り優勝した。ニアピンは実力通り、佐藤忠良氏（49卒）と小室氏の二人で分け合った。プレー終了後、ソフトドリンクを飲みながらの懇親会で、次回は来年5月に実施することを確認し散会した。（55卒 木村隆志）

勝田地区「卒回の集い」開催される



2019年2月15日(金)18時00分より「クリスタルパレス」にて卒回の集いを開催した。当日は、63回卒6名、75回卒7名、85回卒5名、95回卒9名、来賓・幹事11名の計38名の参加となった。勝田地区 坪会長、同窓会本部 松浦総務主査より挨拶を頂き、勝田地区 熱海副会長の乾杯の発声で宴会がスタートした。

対象者数83名に対し、対象出席者数27名と出席率は3割程度となり、盛り上がるか不安だったが、今回初の試みである抽選会、司会役の工藤幹事の見事な進行でとても盛り上がった集いになった。

松浦 和弘
(86卒・佐和)

小平浪平翁生誕記念講演会に参加して

435号で「小平浪平翁記念会」入会のお知らせをしたが、1月15日 栃木商工会議所において小平浪平翁記念会主催の生誕記念講演会・交流会が開催され山崎会長と出席した。当日は、大川市長、日立製作所より福山名誉顧問をはじめ日立関係者、会員の110名が参加した。

講師には(株)日立製作所 電力ビジネスユニット総務部庶務課 稲川修氏による「日立小平記念館の運営を通じた社会貢献活動」と題し、日立事業所内にある小平記念館の紹介と創業小屋、日立製品・技術発達

の歴史等の展示物、また、小平翁の町づくり・人づくりの紹介があった。

最後に小平記念館見学の申込み手順、注意事項などの説明を行い講演を締めた。

小平浪平翁記念会は、平成29年10月5日に設立され、小平翁の功績とものづくりへの経営理念と次世代に向けて顕彰し「経営者を志す若者の人材育成に貢献する」とともに「地方経済の発展を図る」ことを目的としている。

本記念会は、小平翁生誕である1月15日と命日である10月15日に総会を東京で実施する。

小平翁生家は、現在整理中であり見学できるよう準備中である。また、今回の講演終了後に大川市長は、日立の記念館には及ばないが、小平資料館を市内につくりたいと述べていた。

事務局(石井)



社 内 表 彰

支 部 名 変 更

(新) S日カッパ
日立金属土浦

会 員 の 消 息

◎定年退職

ご苦労さま
でした



庄司	満男氏	(62卒・那珂)	18	11	30
村山	俊夫氏	(62卒・日立)	18	11	31
佐藤	津好氏	(62卒・日立)	18	12	31
根本賢市郎氏	(62卒・多賀)	18	12	31	31
小橋	治彦氏	(62卒・大みか)	18	12	31
小林	伸治氏	(62卒・大みか)	18	12	31
鈴木	斉氏	(62卒・日研)	18	12	31
坪	安夫氏	(62卒・佐和)	18	12	31
浅川	文男氏	(62卒・水戸)	18	12	31
飯田	登氏	(62卒・下館)	18	12	31

小野	芳幸氏	(62卒・栃木)	18	12	31
塩田	信治氏	(62卒・佐和)	19	1	31
佐藤	勉氏	(62卒・那珂)	19	1	31
澤畑	輝雄氏	(62卒・大みか)	19	1	31
上村	賢吾氏	(62卒・大みか)	19	1	31
青木	初雄氏	(62卒・大みか)	19	1	31

◎退職

小野崎悠介氏	(95卒・大みか)	18	12	31	
吉沢	健一氏	(97卒・多賀)	18	12	31
高橋	亮太氏	(101卒・日高)	18	12	31

◎会員逝去

謹んで冥福を
お祈りいたします

◎本部会員

山崎喜三郎氏	(39卒)	18	11	22	
楡井	康之氏	(39卒)	18	12	23
矢田部庄一氏	(28卒)	18	12	29	
田所	富男氏	(39卒)	19	1	23
鎌田	孝夫氏	(34卒)	19	1	26

◎ご家族逝去

お悔やみ申し上げます

小野崎悠介氏	(95卒・大みか)	ご母堂	18	11	12
小野崎	惇氏	(98卒・水戸)	ご母堂	18	11
木幡	雅充氏	(70卒・国分)	ご尊父	18	11
根本	和博氏	(79卒・水戸)	ご尊父	18	11
尾沼	悟氏	(97卒・大みか)	ご尊父	18	11
佐々木大輔氏	(82卒・日立)	ご母堂	18	11	29

435号お詫び訂正

佐々木健太氏(84卒・大みか)ご母堂18・11・29
 岡田 昭文氏(67卒・水戸)ご尊父18・12・17
 檜崎 博幸氏(64卒・水戸)ご母堂18・12・29
 石井久味男氏(65卒・佐和)ご子息19・1・14
 中郡 勝男氏(70卒・佐和)ご母堂19・1・20
 細金 敦氏(71卒・日研)ご尊父19・1・22
 新美 行男氏(76卒・水戸)ご尊父19・1・23
 小坪 春人氏(86卒・日高)ご尊父19・2・2
 大橋 了久氏(66卒・大みか)ご母堂19・2・3

(技能五輪全国大会開催期間)

誤：10月27日～12月4日

正：10月27日～11月4日

(同窓生参加数)

誤：55名

正：59名(在校生5名含まず)

(敢闘賞入賞者数)

誤：敢闘賞9組(10名)

正：敢闘賞10組(11名)

(銀賞・遠藤啓太氏の職種名)

誤：構造物鉄鋼

正：構造物鉄工

(最終頁の技能五輪競技風景)

誤：抜き型 森山 春貴(102卒)

正：抜き型 森山 晴貴(102卒)



▼今号にある「技能五輪座談会」取り纏めを初めて担当した▼時間が経つにつれ、メダリストの笑顔を垣間見る事ができた。纏め者としてホッとした瞬間だ▼広報委員にとって取材は必要不可欠。プライベートを割き、時間と労力がかかる。「技能五輪」取材を事前準備から対応いただいた広報委員に感謝。▼全てにおいて、ひとりでは何事もできない。必ず、周りのサポートがある事を忘れてはいけない。今回の取り纏めにおいて改めて実感した▼広報委員の仲間に感謝でいっぱい。今後とも宜しくお願い。(のり)

▼2月中旬、鹿島灘海浜公園に立ち寄り、散策しているとカワズ桜のつぼみが膨らんでおり、春の訪れを感じた。日立の桜咲くころ、友人たちと夜桜を眺めながらお酒を飲んだことを思い出し、今年も行きたいと思った。▼支部解散から数年経ちますが、広報として他支部の活動内容に携わったり、学校・寮を訪れる機会ができて感謝とともに、これからも同窓会で交流を大切にしながら、活動をしていきたいと思う。(かず)